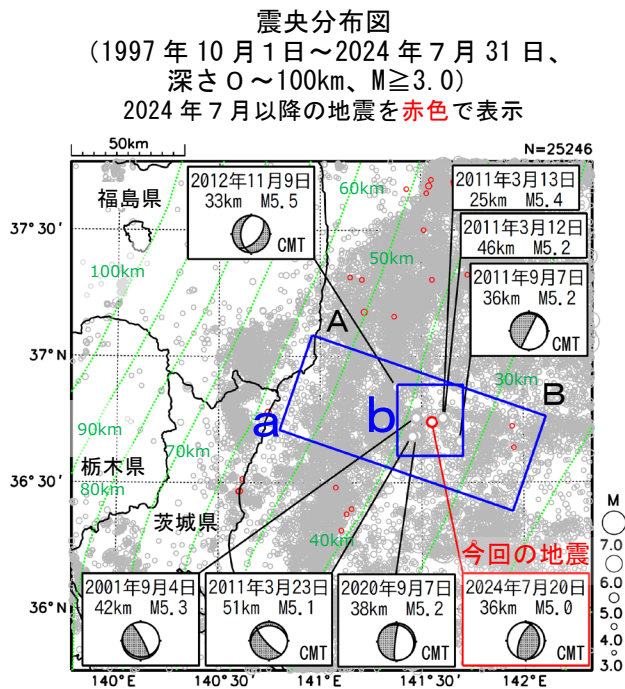
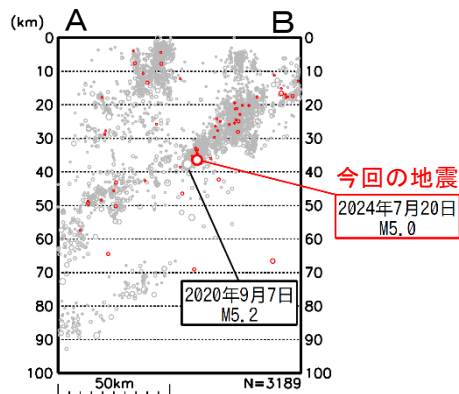


7月20日 茨城県沖の地震

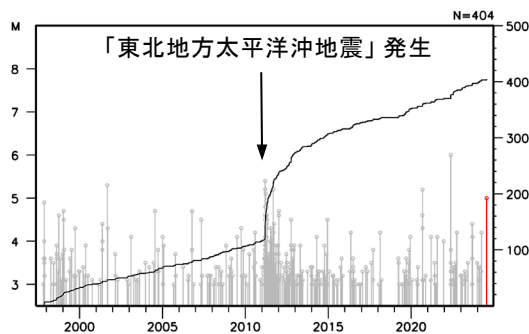


震央分布図中の緑色の破線は、弘瀬・他（2008）による太平洋プレート上面のおおよその深さを示す。

領域a内の断面図
(A-B投影、2020年9月1日～
2024年7月31日、 $M \geq 1.5$)



領域b内のM-T図及び回数積算図

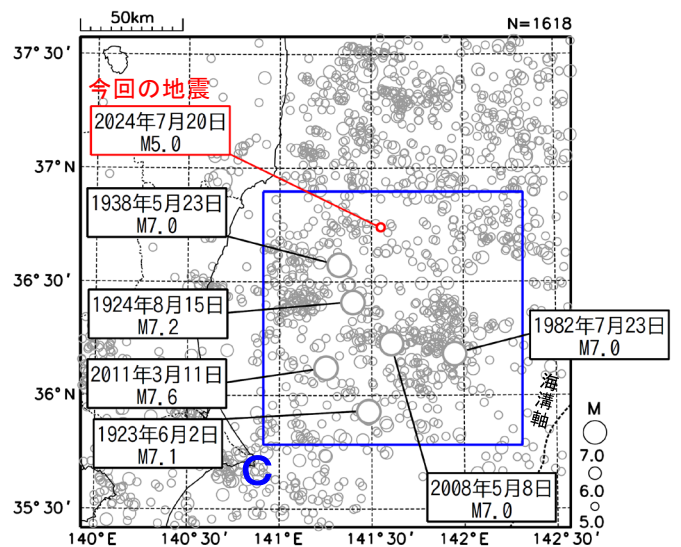


2024年7月20日20時15分に茨城県沖の深さ36kmでM5.0の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域b）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生以降、地震の発生数が増加し、M5.0以上の地震が時々発生している。2020年9月7日にはM5.2の地震（最大震度3）が発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M7.0以上の地震が時々発生している。2011年3月11日15時15分に発生したM7.6の地震（最大震度6強）は、「東北地方太平洋沖地震」の最大余震である。

震央分布図
(1919年1月1日～2024年7月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)
2024年7月以降の地震を赤色で表示



領域c内のM-T図

